

令和4年度予算の概要

各会計予算

| | 金額 | 対前年度増減比 |
|---------------|---------------|---------|
| 一般会計 | 2,120億円 | 6.3% |
| 国民健康保険事業特別会計 | 476億8,000万円 | 3.1% |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 113億6,800万円 | 5.3% |
| 介護保険事業特別会計 | 425億2,700万円 | 1.0% |
| 駐車場事業特別会計 | 6億1,250万円 | △0.1% |
| 合計 | 3,141億8,750万円 | 5.0% |

区民一人当たりの予算額（一般会計）

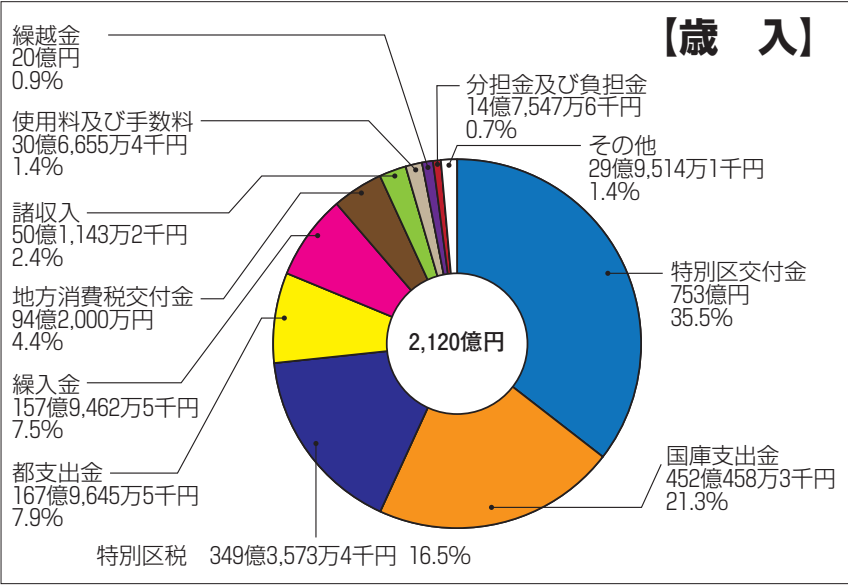
| | |
|----------------------|----------|
| 災害対策や地域活動、文化振興などに | 43,034円 |
| 清掃事業や環境対策に | 16,348円 |
| 高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に | 196,345円 |
| 中小企業に対する融資など産業経済に | 10,397円 |
| 道路・公園整備やまちづくりに | 37,008円 |
| 生涯学習の支援や小中学校の運営などに | 56,942円 |
| 常勤職員の給料等に | 54,785円 |
| 特別区債の償還などに | 2,513円 |
| 国民健康保険・介護保険事業などの繰出しに | 39,505円 |
| 合計 | 456,877円 |

人口は462,083人（令和4年1月1日現在）から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

2月16日の本会議において、令和4年度各会計予算5件を審査するために、39名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。
予算案は、3月4日の総括質疑の後、各分科会で審査を行い、その後、予算審査特別委員会において各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定し、3月30日の本会議において可決されました。

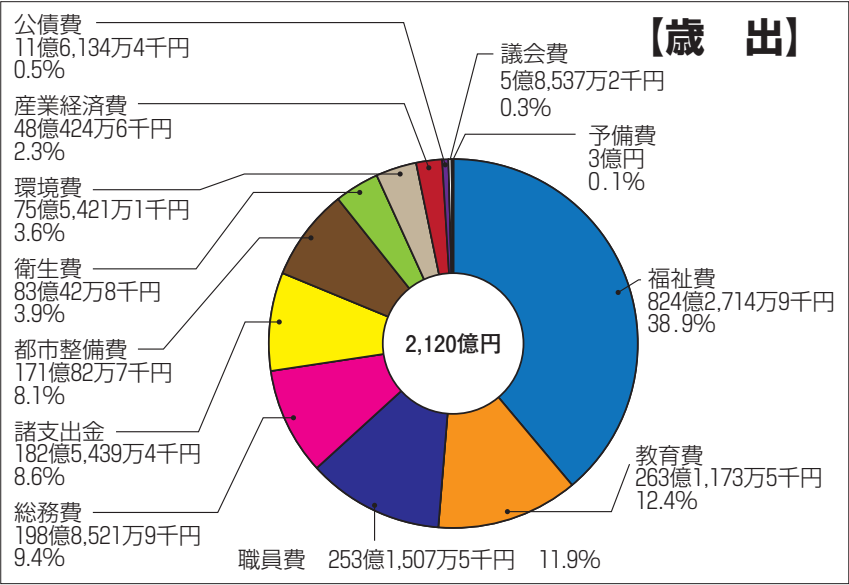
予算審査特別委員会 令和4年度予算を審査

一般会計



※その他は地方譲与税など

※千円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。
比率は小数第2位を四捨五入して小数第1位まで表示しているため、合計が100とならない場合があります。



令和4年度予算に対する各会派の意見

この面から7面まで、令和4年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

自由民主党議員団

あらゆる有事に備えた持続可能な葛飾区の実現を

総務費では、総合防災訓練や水害避難ガイド、一時避難場所看板の多言語化など区民に分かり易い防災啓発を求める。町の落書き消去支援の検討を望む。SDGs推進計画は、オール葛飾で協働し、実現に向けた取組みを望む。配偶者暴力防止事業では、DV被害者と同居家族の安全面に配慮を求める。産業経済費では、アフターコロナを見据え、「こち亀」などのキャラクター活用や寅さん記念館リニューアル、葛飾特有のコンテンツを充実した観光推進を望む。都市型スマート農業の実証実験を東京理科大と連携し、高齢化や担い手不足の解消を望む。水元公園を活用した農業公園整備を東京都に働きかけ、区民の都市農業への理解促進及び特定生産緑地の保全を要望する。福祉費では、福祉施設におけるBCP策定の遅れを踏まえ、災害に備えた各施設への継続的な支援と早期予算計上を要望する。包括的な支援体制の整備として、参加支援事業の推進と地域づくりに向けた支援の充実を求める。児童福祉費では、保育園での読み聞かせを重視し、園が所有する絵本の貸出など学びの機会を増やし、保育の質を高めるよう要望する。また、私立幼稚園の教諭人材を確保すべく、宿舍借上費助成や住宅手当補助などによる安定的な運営の支援を要望する。自殺未遂者へのメンタルケアにつて、心に寄り添う支援事業の拡大を要望する。公衆衛生費では、災害時に混乱が生じぬよう、区内の特定動物の情報管理や飼い主への責任の周知を工夫し、動物救護体制の整備を要望する。環境費では、ゼロカーボンシティ実現に向け、行政・区民・事業者と協議した強化策を期待する。ゴーヤ以外にもパッションフルーツを配布するなど、今までと違った緑のカーテン普及啓発を望む。フラワーメリーゴーランドを

今後も積極的にPR・拡大を望む。清掃費では、国・都・他自治体と連携を図り、環境先進区として着実なりサイクル事業への取組みを望む。

都市整備費では、新金線の旅客化に向け、2030年開通を目指し、必要な予算組みや詳細な議会報告など、実現に向けた取組みを要望する。水元から金町を経由し、新金線仮称新宿駅までを繋ぐバス交通などの検討を望む。四つ木地区の密集住宅市街地整備促進事業に係る公園整備は、公園課と他課による綿密な連携を要望する。

教育総務費では、小中学校の段階から切れ目なく運動する機会を設け、運動離れを抑制し、体力向上への取組み拡充を要望する。タブレットを活かしたオンライン社会科見学は、先進的な取組みであり、それを活用し、各学校の特色ある学校づくり支援を望む。選挙権、成年年齢の引下げに伴い、学校図書館へ新聞配備し、早い段階から社会への関心を持つ教材としての活用を要望する。

小学校費では、区立学校教員の働き方改革の目標である原則1カ月超過勤務45時間、年次休暇取得日数10日未満をゼロにする取組み指導を要望する。社会体育費では、かねてからの要望である「かつしかふれあいRUNフェスタ」の早期公道開催を強く望む。

葛飾区議会公明党

区民サービスの向上を目指し
区政運営の取り組みを強化

令和4年度当初予算では、施設整備の財源として起債の発行をせずに予算編成を行っていることを評価する。総務費では、外国人区民のために日本語教室の拡充を求める。水陸両用車は、防災意識の啓発として区民に周知を望む。垂直避難について民間集合住宅との一時避難の協定締結を促進するため、助成制度等の導入を求める。庁舎跡地の活用は、立石の街づくりと一体となった検討が必要であり、移転後に周辺地域の区民サービスが低下しないよう強く望む。我が会派が要望してきた防災マップブックの作成を評価し、活用を求める。コンテナ型喫煙所の積極的な導入を求める。喫煙禁止区域は、地域環境に応じたエリア拡大を望む。産業経済費では、就職氷河期世代安定雇用促進奨励金について広く区民に周知し、その執行を望む。福祉費では、閉庁時に家族介護者が相談できる電話相談窓口の設置を評価し、周知方法の工夫を求める。重度障害者等への通勤支援について利用対象者への周知と着実な推進を求める。高齢者の健康・長寿を目指すフレイル対策推進を求める。ヤングケアラーの周知啓発は、年代を問わず明確なパンフレット作成や相談体制の充実を望む。児童相談所開設には、人材育成を補うAIの活用を図るよう要望する。養育費受取支援助成では、周辺区状況を把握し所得制限の撤廃と、離婚協議中でも申請可能とすることを要望する。衛生費では、健康長寿いきいき健康診査について、栄養指導・機能訓練などを高齢者総合相談センター等で行えるよう工夫を求める。環境費では、ごみ収集事業者の夏季労働環境改善のため、特殊勤務手当の導入や増員に必要な予算措置を求める。気候変動適応策の推進には、区民の行動変容を促す「緑のカーテン」スターキットの配布や広報の工夫を求める。食品ロス削減のため、フードドライブ常設窓口の設置拡大を求める。都市整備費では、新たな交通システム導入のため区内民間事業者等と連携を図り、事業の早期構築を求める。西新小岩五丁目地区の街づくりでは、防災力向上やモンチッチ公園の魅力発信に繋がる道路整備を求める。LED照明等借上料は、リース更新時に契約内容を精査し事業継続を図ることを望む。新中川などに投棄されるプラスチックごみ等の清掃の取り組みを求める。教育費では、体育教育において「かつしかつ子体力アッププログラム」の充実を望む。水泳指導教育は、温水プール利用団体と調整を図りながら理解

を得ることに努めて頂きたい。勉強の遅れが出やすい学年や教科で、学習補助指導員等の配置に更なる工夫を望む。全教員に対し特別支援教育の研修の実施と、デジタル版M・I・Mの活用を求める。ヤングケアラーの支援は、全庁的な取り組みとなるよう要望する。教職員の働き方改革を目的とした、スクールサポートスタッフの拡大を評価する。小・中学校女子個室トイレへの生理用品の設置については、だれでもトイレや体育館などにも設置を要望する。

国民健康保険事業特別会計他各特別会計は、概ね了とする。

かつしか区民連合

持続可能な社会を目指し、事業の再構築の決断と実行を

総務費 S・D・G・s推進は目標を明確にし、実効性のある計画策定を求める。公共施設等経営基本方針改定は全体像、総量目標、適正規模、複合化等を含めた将来像とその道筋を立てた方針修正を求む。公共施設等整備基金は積立ルールと新たな取崩しルールの明示を求む。行財政改革は徹底的な見直しで効率的・効果的な予算配分を求める。行政評価は外部評価対象事業の見直しと専門家の付加を求める。

産業経済費 亀有観光拠点施設はクラウドファンディング導入を求む。

福祉費 家族介護者支援は窓口新設を高く評価し施策のさらなる構築を求む。重度心身障害者のグループホーム設置を求む。放課後デイサービスは事業者と学校の連絡体制の深化を求む。医療的ケア児の相談窓口開設と当事者家族への実態調査を求む。マタニティパスは移動支援の在り方検討を求む。児童相談所設置に向けて人員体制の強化と資質向上を求む。公立保育園保育士の今後の活用方法検討を求む。学童保育事業はコロナ対策の丁寧な対応を求む。児童福祉事業はニーズと状況の見極めた展開を求む。

衛生費 新型コロナウイルスに備え区全体のBCP作成を求む。ワクチンコ

ールセンターは、区HPの表示改善と業務委託事業者との綿密な連携及び最新情報共有を求む。

環境費 フラワーメリーゴーランドはこれまでの事業展開を評価する。今後は区内でのさらなる活用を求む。屋上壁面緑化は制度改善または見直しの検討を求む。生物多様性保全は望ましい将来像や希少種保全等の具体化を求む。区HPに環境のバナー導入を求む。

都市整備費 都市計画マスタープランは幅広い世代の意見聴取を求む。河川周辺の整備検討を求む。森永乳業跡地は事業者との調整を求む。立石駅周辺賑わい創出はランドデザインの提示を求む。シェアサイクルと電動キックボードの安全を踏まえた進捗管理を求む。空き家はまちづくりでの活用を求む。水元小合溜整備は外来種防除と保全計画を整備し、管理を求む。鎌倉公園は野草園の専門的な管理と学校等への周知を求む。

教育費 体力向上は就学前から幼児小連携した取組を求む。教科担任制は児童・教員にとって有意義な導入を求む。学習センター・学校図書館の環境整備と新聞教育の導入を求む。S・S・W増員を評価する。総合教育センターの体制整備を求む。プログラミング教育は一層の先進的取組を求む。授業力向上プロジェクトは教員の個性を生かした指導を求む。スクールサポートスタッフはさらなる活用を期待する。社会教育主事採用を評価する。わくわくチャレンジ広場運営は学童保育クラブとの統一性等も視野に入れたプロポーザル方式の導入を求む。地域文化遺産制度は推進を期待し地域の資料収集を求む。柴又文化的景観は部署を超えた体制整備を求む。区制90年を契機にした資料収集と展示を求む。図書館管理運営は計画性のある子ども読書推進を求む。はたちのつどいは式典実施を通じ区と新成人の継続した繋がり構築を求む。

各特別会計 概ね了とする。

日本共産党葛飾区議会議員団

新型コロナ対策は区の責任で暮らしと家計応援の予算に

新年度予算はコロナ禍の下で苦しむ区民のいのちと暮らしと営業をどう守るのが問われました。

ところが区は、年度末の最終補正予算で100億円を超える基金の積み増しを行なっています。この財源を活用すればワクチン接種の迅速化とともにPCR検査の無料化の拡大、個人と事業者への独自の給付金、保健所体制の強化で濃厚接触者の追跡や陽性者を自宅に置き去りにしない対応など、十分に可能です。

区民に更なる負担の押し付け

国民健康保険料、後期高齢者医療保険料の大幅な値上げ、にこわ新小岩（複合施設）や公園の使用料値上げなど区民に更なる負担を押し付けるものになっています。

児童会館（西新小岩）の廃止、公立保育園の民営化、更に子ども未来プラザは、児童厚生施設ではなく子どもの居場所が保障されていないなど、子育て支援策は後退しています。

学校プールの廃止は撤回すべき

区民・関係者の意見を聞かず押し進めている学校プールの廃止は重大です。学校外プールの活用は移動時間がかかり、子どもや教職員に一層の負担を強いるものです。

社会教育のためにつくった区立温水プールを、学校教育に優先して使うことは社会教育法と体育施設条例に反しています。

立石駅北口再開発・東金町二丁目西地区再開発は見直しを

区役所は、大規模改修を行なえばまだ使えます。移転する必要はありません。この計画は、住民合意のない立石駅北口地区再開発事業を救済するために莫大な税金投入を行なうもので

す。

東金町二丁目西地区は、自動車学校を特別扱いする計画です。更に、事業費の増加や商業施設のテナントが、売れ残れば区が残った床を購入することになりかねない。抜本的な見直しが必要です。

児童相談所の整備

児童相談所の要はマンパワーですがその職員の確保ができていません。売買価格を上回る地代を払わなくてはならず、しかも35年後に更地にして返さなくてはいけない、定期借地権の土地に児童相談所をつくることは認められません。

要求実現に全力で頑張ります

わが区議団は切実な区民要求実現のため、5つの議員提出議案と当初予算に対する組み替え動議を行ないました。組み替えは予算案の1.5%にすぎないものです。残念ながら多数の賛同は得られず、可決されませんでした。引き続き区民の暮らしに寄り添った施策になるよう頑張ります。

無所属（※1）

ロシアのウクライナ侵攻による影響から区民生活を守る予算に

新型コロナウィルスの蔓延により景気が後退すると同時に、ロシアのウクライナ侵攻により、物価も上昇しており、景気の減速と物価高のいわゆるスタグフレーションに陥っている。これらの要因により葛飾区民の生活は今後さらに苦しさを増すことは明らかであり、予算全体を見直す必要があると考える。

総務費、環境費、都市整備費については特に歳出を抑えた予算にすべきと考える。ロシアのウクライナ侵攻により原油価格が大暴騰し、ガソリン価格も物流コストも大幅に上昇している。輸入小麦も過去一番目の高値となっており、4月からは17%も値上げされることと発表されている。これは1970年代のオイルショック後の状態と同様

であると言える。このように、区民生活は益々苦しくなることは明白であり、喫緊の課題以外への予算は出来るだけ抑えなければならないと考える。一定の水準以下の低所得世帯に対し葛飾区独自の制度を新設し、特に手厚い生活維持給付金の支給を最優先予算とすべきと考える。また、昨年4月から12月にかけてはコロナが原因で大学や高等専門学校を中退した学生が前年に比べ4割も増加しており、これらの中退者を防ぐ葛飾区独自の奨学金等の充実も図るべきと考える。特に現時点においては立石駅前再開発に伴い策定された新庁舎移転計画は一旦中断し、区民生活を支える重点予算とすべきと考える。

無所属（※2）

区民の目線に立った区政の実現を

議会費 より多くの区民に議会での議論を知ってもらい、意見や要望を区政に反映させるためには、現在行っている議会で中継をユーチューブでも配信し、アーカイブを残すことが必要。また、4つの常任委員会、3つの特別委員会、議会運営委員会など全ての委員会でも議会中継を行い、情報公開を進めるとを要望。**総務費** 東京都で導入予定の「東京都パートナーシップ宣誓制度」について都内では現在8区、5市で先行導入がされている。葛飾区でも区内当事者の要望に沿った条例の整備を要望。**衛生費** 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成事業について、現在約一週間かかる申請方法の見直しを含め、一頭あたりオス5千円、メス1万円の助成上限額を改め、全額助成を実現するために獣医師会や各動物病院との調整を要望。また、保護猫活動において一時的なシェルターの役割を要成す施設の設定や助成制度の検討を要望。保護猫の里親募集や譲渡会開催を区が協力して行い、屋外で暮らす猫の数を減らすように努めることを要望。ペットの同行避難について、どの避難所に何頭まで受け入れ可能かを明確化

した避難マップの作成を要望。**教育費** 学校外の屋内温水プールを活用した水泳指導の実施予定校12校について、児童・生徒が安心・安全に授業に臨めるよう慎重に進めること。課題点はすぐに委員会でも共有し改善を議論できる体制の整備を要望。

無所属（※3）

区民の皆様の暮らしや命、健康を守るため効果的な予算配分を

区民の皆様が暮らしや命、健康が守られるよう、限りある財源を効率的・効果的に執行することを願う。**【総務費】** 区民の皆様を守るため、民間の垂直避難先を増やすほか、避難者を受け入れる側の理解の促進等の対策が課題である。区民の皆様への意識の醸成等水害リスクへの備えが万全な葛飾区を作

って頂きたい。女性視点の防災対策推進経費につき、女性に対する授乳室やトイレ等ハード面の配慮、地域の防災訓練への落とし込み等に取り組んで頂きたい。高齢者向けのスマホ教室につき、SNSの活用支援の充実等、地域の皆様のご要望に合わせた講座となるよう取り組んで頂きたい。**【福祉費】** 障がい者の移動支援の充実について、利用者に寄り添った制度改正を進めて頂きたい。**【環境費】** 環境先進自治体としてゼロエミ住宅への助成、燃料電池バス導入の区内事業者への働きかけ、ボトル・o・ボトル事業のPRの充実に取り組んで頂きたい。**【都市整備費】** 新小岩駅周辺のエリアマネジメントにつき、まちづくり協議会、地域のステークホルダー等と連携しながら更なる賑わいの創出に向け取り組んで頂きたい。西新小岩五丁目地区の街づくりにつき防災生活道路の整備を地域の皆様との合意形成を図りながら行なって頂きたい。**【介護保険事業特別会計】** 介護保険料の上昇を抑制する為の取組の充実、持続可能で良質な介護サービスを区民に提供して頂きたい。

無所属（※4）

区の肺がん検診の見落としを
隠蔽せずに説明・公表すべき

葛飾区が行っている肺がん検診でが
んの見落としがあったとして区民から
訴えられ、昨年12月に和解した件で、
健康部長は「当該医療機関について
後から振り返ると陰影があったことは
認めている」と議会で答弁し、がんの
見落としを認めたことは大きな一歩で
ある。しかし、見落としが発覚した後
も当該医療機関ではがん検診をそのま
ま継続してきたことは大きな問題であ
り、一旦休止して原因究明を行って再
発防止に取り組むべきであった。また
東京都が市区町村に対して行っている
「がん検診事業評価のためのチェック
リスト」でも葛飾区は令和2年度も改
善指導対象という評価であり、早急な
改善が求められる。杉並区もかつて葛
飾区と同様にがん検診の見落としが発
生したが、検証委員会を設置して原因
究明を行い、さらに区・医師会・医療
機関で記者会見まで行ったのに対し、
葛飾区は医療機関名も公表せず、議会
で区側は「区民に対して説明するつも
りはない」と開き直った答弁をしたの
は言語道断である。隠蔽せずこれま
での経緯を説明し、今後も区民が安心し
てがん検診を受診できるよう引き続き
取り組むことを望む。

無所属（※5）

区民生活の今を最優先に
無駄を無くした施策を

総務費では、広報かつしかの若い読
者獲得に向けた工夫展開を求む。SN
Sの活用にも期待。環境推進費の緑と
花のまちづくり事業経費では花いっぱい

い運動への区民個人での活動参加がS
DGsの取組みへの興味へとつながる
周知誘導の工夫を期待する。区民費で
は地区センター内や周辺歩道環境整備
等バリアフリー化の強化を求む。高齢
者や子育て世帯が多く利用する区内施
設周辺は特に対応が必要。産業経済費
では、今年度実施のデジタル版商品券
は発行予定数を下回ったため、周知等
の工夫を求む。地域商店会応援のため
続けて頂きたい。商品券引換時の商店
会負担軽減を求む。清掃費では職員の
負担軽減策の更なる実施を求む。都市
整備費は道路通報システムの区民周知
を求む。高砂二丁目、高砂団地、水元
東金町などの交通不便地域におけるコ
ミュニティバス、乗合タクシー、グリ
ーンスローモビリティの検討を求む。
街づくり費の高砂駅周辺街づくり事業
経費では、新金貨物線旅客化が高砂街
づくり事業に及ぼす影響を把握するた
めに、街づくりの中で内容反映を求む。
へい死犬猫処理は、動物愛護のみなら
ず地域防犯の観点からも、注視が必要。
鎌倉地域でのさくら猫虐待のような虐
待の痕跡がある場合には、警察と連携
を望む。動物虐待は犯罪である旨の周
知を求む。公園費では望ましい空き地
があり、地域から要望が出ている場合
には積極的な公園の設置を期待する。

無所属（※6）

未来につながる気候変動対策・
子ども政策の充実を

気候変動対策は待ったなし。ゼロエ
ミッションかつしか宣言の実現に向け、
今後建築する学校などの公共施設はZ
EB化を要望する。気候変動対策にお
いて区民の理解や協力を求めるのであ
れば、区が率先して取り組む必要があ
る。家族介護者の支援拡充のため、夜
間・休日電話相談窓口の設置は評価し、
広く周知することを要望する。家族介
護者を支えるケアラー支援条例制定の
検討を。子ども食堂が定期的な活動を
続けられるように活動場所の確保を求
める。多胎児支援事業・ベビーシッター

ー事業の利用が少ない。子育て世帯の
負担軽減のためにも、当事者の声に耳
を傾け実態を事業に反映し利用拡大を。
子宮頸がんワクチンに関しては、重篤
副反応被害者がある事実等、接種対象
者とその保護者がメリットとデメリット
を知って選択するための情報提供を
要望する。給食食料費の高騰分を保護
者の負担とせず、公費による補助で賄
う対応を評価する。新しく市場に流通
し始めたゲノム編集食品は遺伝子を操
作した食品であり、食べ続けることに
よる安全性は不明。ゲノム編集食品を
給食に使用しないことを要望する。東
金町では50人を超える学童保育の待機
児が出ている。わくわくチャレンジ広
場の活用も必要ではあるが、児童が安
全に過ごすことができる学童保育の整
備を望む。既存事業、新規事業ともに
必要な区民へ情報が届き、利用につな
がることを要望する。

無所属（※7）

区民の利便性向上と地域活性化に
向け新金貨物線旅客化の早期実現を

総務費では、災害時における建物倒
壊による道路閉塞防止のため耐震化促
進事業を進めること。避難所において
は、避難所運営や備蓄物資など女性の
視点による防災対策の強化を求める。
災害時の断水に備えたマンホールトイ
レ等の整備。各地域の特性を踏まえた
防災マニュアルを活用した防災訓練、
イベントなどで防災への意識啓発を図
ること。災害医療コーディネーターに
よる新たな災害医療体制にも期待する。
産業経済費では、プレミアム付商品券
の発行により、新型コロナウイルスの
影響で落ち込んだ消費を喚起し、区内
商業の活性化を求め、さらに利用可能
店舗拡大も願う。福祉費では、ヤング
ケアラーの周知、家族介護者の相談窓
口を充実させ、支援の充実を求める。
清掃費では、現4施設を集約する新た
な清掃事務所の整備によるZEB R
eady認証取得に期待する。都市整
備費では、新小岩と金町を結ぶ新金貨

物線の旅客化実現に向けて、関係機関
による検討会の実施、駅位置や車両基
地の検討、国道6号との交差方法の検
討を進め、早期旅客化を目指すこと。
細田循環バスについては、利用促進を
引き続き呼びかけ、区民に利用いた
くこと。バス利用環境向上のため、バ
ス利用者駐輪場の整備を進めること。
観光振興も期待できるシェアサイクル
の社会実験を期待する。教育費では、
小学校特別支援教室におけるデジタル
版MIMの活用を求める。

無所属（※8）

優先するもの、立ち止まり検証が必要
なものを見極め生活を守る区政を

どのような状況でも、誰もが個人と
して尊厳が守られ、普通に衣食住が確
保される区政運営を求める。リリオ亀
有リノバーションプロジェクトは「販
わいの創出」「地域の活性化」の事業目
的に対し、具体的な指標で評価・検証
内容を示すこと。総合庁舎整備検討経
費では、総合庁舎整備に特化した、区
長との意見交換会あるいはシンポジウ
ム等で広く区民への周知と意見を拾い
上げること。駅前再開発事業の検証を
すること。大規模水害の避難行動のさ
らなる周知を求める。福祉費では、所
持金がない生活保護申請者に対する法
外援助について要保護者の個々の状況
に応じて対応できるよう見直しが必要。
扶養照会とは国や東京都の事務連絡に基
づき運用し、申請者への丁寧な対応を
求める。介護従事者の確保・定着につ
いて、区内事業所での処遇改善加算・
介護職員処遇改善支援補助金の申請・
実施について把握し、区の施策を効果
的なものにする。こと、処遇改善は交付
金で行うよう国へ求めること。区立保
育園の民営化は見直し、特に区内株式
会社立の人員費比率、保育従事者の確
保・定着の状況を実態把握・検証が必
要。児童相談所整備は開設時期にこだ
わらず、職員の育成・確保に注力する
こと。衛生費では、「香害」の一層の
周知啓発、子宮頸がんワクチンの副反

応被害、治療法が確立していないこと
等、対象者及び保護者への周知を求め
る。

無所属（※9）

誰もが安心して利用できる学校施設と
差別のない社会の実現を

終わりの見えない新型コロナウイルス感
染は依然として人々の生活を逼迫させて
いる。そうした状況の中で編成された令
和4年度予算案は適切であり、評価す
る。総務費 総合庁舎の整備についてで
あるが、現在の庁舎は老朽化や狭あい
化が多く、かつ防災性の機能の不足な
どが課題である。また、議会棟におい
ては、障害者のための配慮がされてお
らず、傍聴もできない状態である。誰
でも安心して利用できる新庁舎の建設
を求めるものである。福祉費 202
1年に改正障害者差別解消法が施行さ
れているが、まだ一般の人には周知度
が低い。この法律の周知に努めていた
だきたい。障害者の場合は、限られた
中での生活を余儀なくされる。つまり
環境の壁や心の壁を取り除くことであ
る。本当の豊かな社会とは、差別のな
い社会によるものだ。よって、きめ細
かい合理的配慮が不可欠である。都市
整備費 新金貨物線の旅客化について
いよいよ実現の見通しがついていた。
当初、重要視されていなかったが、約
二十数年の歳月を経て今日を迎えたの
は、大きな躍進である。今後の取り組
みに期待する。一方、本区が鉄道のバ
リアフリー化に取り組んでいることは
評価する。ただし、主要な駅以外のチ
ェックもすべきである。教育費 学校
施設のバリアフリー化により積極的
に取り組んでいただきたい。国民健康
保険事業会計ほか各特別会計は、お
おむね了とする。



予算審査特別委員会
委員長報告（要旨）

予算審査特別委員会は、令和4
年度各会計予算について審査を行
うために、2月16日の本会議にお
いて、39名の議員を構成委員とし
て設置されました。当委員会は、
詳細な審査を行うために、第1か
ら第4までの4つの分科会を設置
しました。

各分科会の審査事項は、第1分
科会が一般会計予算のうち、議会
費、総務費、産業経済費及び職員
費を、第2分科会が福祉費及び衛
生費を、第3分科会が環境費及び
都市整備費を、第4分科会が教育
費、公債費、諸支出金、予備費並
びに各特別会計予算を所管しまし
た。

3月4日の委員会では、総括質
疑を実施し、7名の委員から区政
運営全般について、多角的かつ大
局的な観点に立つて質疑が交わさ
れました。

また、各分科会を3月7日から
10日までそれぞれ1日ずつ開催し、
所管事項の審査を行った結果、各
分科会長から審査が終了した旨の
報告書が委員長あて提出されたの
で、当委員会は、3月14日に、各
分科会長から審査経過及び各会派
からの意見の報告を受けました。
その上で、付託議案5件につい
て順次採決を行い、「令和4年度
葛飾区一般会計予算」、「令和4年
度葛飾区国民健康保険事業特別会
計予算」、「令和4年度葛飾区後期
高齢者医療事業特別会計予算」、
「令和4年度葛飾区介護保険事業
特別会計予算」、「令和4年度葛飾
区駐車場事業特別会計予算」は、
賛成多数で原案のとおり可決すべ
きものと決定しました。